

2008年度 第3回「創造性の育成塾」

【応募要項】

1. 趣旨

「創造性の育成塾」は NPO ネットジャーナリスト協会会長、有馬朗人（元文部大臣）の「日本の未来を開き、世界に貢献できる青少年の育成」との呼びかけで発足しました。

そのメイン活動「夏季合宿」はノーベル賞受賞者や一流の学者、新進気鋭の教員達を講師に全国から選抜された理科好きの中学2年生40人を招き、一昨年、昨年に実施、今年2008年はその3回目です。

高校生を対象にした国際科学オリンピックの「生物」が2009年「化学」が2010年、日本で開催されます。「創造性の育成塾」は、全科学オリンピックへの挑戦を目指します。

「塾」の活動は夏季合宿に止まらず、年間を通じ、切磋琢磨する場として専属のホームページを開設、講師陣と塾生、保護者らが参加、活発に取り組んでいます。

参加塾生の交通費、合宿費等すべて無料です。

2. 応募資格

- (1) 本塾の趣旨に即した心身ともに健康で理科好きな生徒を選考する。
- (2) 2008年度（平成20年度）に中学校2年生であること（国公立、男女を問わない）
- (3) 心身ともに健康で、夏合宿全日程に参加できること。
- (4) 参加応募者及びその保護者が、本塾の趣旨を理解し賛同できること。

3. 応募期間

2008年4月10日（木）～4月30日（水）（30日消印有効）

4. 合宿期間:場所

期間：2008年8月3日（日）～11日（月）の8泊9日

場所：山梨県富士吉田市・(財)人材開発センター富士研修所

5. 応募先

NPO ネットジャーナリスト協会「創造性の育成塾」事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-7-3 ギャラン虎ノ門ビル5階

6. 応募方法

参加応募用紙（ホームページに書式掲載）の両面に下記の要項に従い記入したものを、期間内に応募先に郵送すること。（郵送以外の方法は不可です。）

①表面

所定事項を記入後、応募した理由を手書き横書きで400字程度にまとめたもの。

②裏面

以下の5つの選考問題の内から1問を選び、問題についてのあなたのアイデアや考えを、図やイラストを用いて説明したもの。

7. 選考問題

1. 地球は水の惑星とも呼ばれますが、海にはまだよくわかっていないことがたくさんあります。もし、あなたが海上や海中などで1年間その場所にとどまって研究することができると思います。あなたはどこで何を調べますか。研究によって明らかにしたいことやその理由、試してみたい研究方法等を詳しく書いてください。
2. 植物の光合成は、食料や酸素の生産など、私たちの生活にはなくてはならない働きをしています。
月に基地を作る場合、植物の働きがとても重要と考えられています。しかし、月で植物を育てるには、植物を育てるための条件や必要な物質など、いろいろな問題点や課題があります。これらの問題点や課題をあげ、それらを解決するために、あなたのアイデアをまとめてください。
3. 岩石などが、長い年月の間に気温の変化や水の影響などで細かく砕かれることを風化と言います。
そこで、この風化を早めるにはどのような方法が考えられますか。また、それをどのように活用しますか。あなたのアイデアをまとめてください。
4. 地球上にあるすべてのものには、質量に応じて重力が加わります。科学の進歩で、地球上でも重力が一切加わらない材料ができたとします。この材料を使って、どんなものをつくると、人類の役に立ちますか。
5. 鉄腕アトムは人の姿をしたロボットですが、人の姿とは違うロボットもたくさん活躍しています。ロボットには役割に応じたセンサーが必要です。何かを探すロボットは光や音などを感じるセンサーが必要ですし、卵のようなこわれやすいものをつかむロボットはつかむ力を調節するために「力」をはかるセンサーが必要です。
こんなロボットがあるといいなというアイデアを出してください。どのような役割をするのか、そのためにどのようなセンサーが必要なのかを中心に、あなたの考えをまとめてください。

8. 選考

応募者の中から、選考問題については、①創造性 ②独創性 ③論理性 ④柔軟性 ⑤具体性 ⑥表現力の6つの観点に基づいて、また応募理由については、①意欲 ②目標 ③表現力 ④HP(創造性の育成塾ホームページ)への参加意欲の4つの観点から、選考委員により35名を選抜します。

9. 発表

選考結果については、6月初旬に合格者のみに連絡致します。
合格者すべての確認が終わりましたら、その旨ホームページに記します。
また、応募頂いた作品は返却しませんのであらかじめご了承ください。
なお、個人情報につきましては選考目的以外には使用しない旨お約束いたします。

主催 NPOネットジャーナリスト協会

後援 文部科学省、東京都教育委員会、全日本中学校長会、
全国・東京都中学校理科教育研究会、NHK、読売新聞社、共同通信社